

製造業



飛騨高山から世界を酔わす酒テーマパーク



アミューズメント性の高い機器を合わせて 効率と満足を両立した酒ゲームセンターが誕生

背景・課題

酒を飲んでみただけの外国人観光客の増加により、売上の上がらぬ対応時間が増加し、試飲が増えるばかりで販売も伸びず、またリピーターの満足度も低下していく状況を打破すべく、コインで酒を自動でサーブする機械等を組み合わせ「酒ゲームセンター」を作り、接客無しで1杯から気軽に試飲できるコーナーを確立しました。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

「無料試飲の有料化」と「試飲対応時間を接客時間へ変換」により、「売上増加(単価UP)」と「労働時間の削減」という生産性の分子分母を一気にダブルで改善することができました。また往々にして、企業の生産性が向上すると顧客の満足度が下がることが多いですが、酒サーバーやガチャガチャ利用の楽しさもあり、逆に満足度向上とSNS発信でのPR効果も得ることができました。



有限会社船坂酒造店

代表取締役社長 有巢 弘城

本社 岐阜県高山市上三之町105

